

理事長	法人本部長	担当者

# 議 事 録

日 付	平成 2 8 年 5 月 2 6 日 (木) (10 : 00～11 : 00)		ページ 1 / 2
議 題		開催場所	会議室
会 議 名	寶樹苑いずみ 平成 2 8 年度 第 1 回運営推進会議		
出席者名	萱場 久悦 様 (泉南地区民生委員児童委員) 佐藤 慎一 様 (御家族代表) 青山 千穂美 様 市川 奈津子 様 (虹の丘地域包括支援センター) 法人・施設 : 中川 俊彦 (施設長)・安積 保 (事業推進主任) 欠席:本郷 克美 様 (上谷刈連合町内会会長 上谷刈狼河原町内会会長) 萱場 久美 様 (評議員) 計 6 名 記入者 安積		
内 容			
【主旨説明】 ●別紙参照			
【委員の紹介】			
【運営状況報告】 ●別紙参照 ●地域貢献事業については、まだまだ低調の為、テコ入れを行っていく。(中川) ●特養の稼働率について。100%ではないという事は入所する余裕があると解釈してよいのか。(萱場久悦様) ・入院中はカウントしない為空室扱いとなる。一定期間を過ぎると、新たな方が入居する可能性はある。(中川) ・待機者はどのくらいか。(萱場久悦様) ・40 人前後となっている。(中川) ●新年度迎えての感想としてはどうでしょうか？(中川) ・安全の為に低床ベッドに変更したりと、色々やっていただき感謝している。(佐藤様) ・新年度を迎え異動等もあり、ユニットリーダーが変わったりと多少落ち着かない状況ではあるが、頑張っていきたいと思う。(中川)			
添付資料：平成 28 年度 第 1 回運営推進会議資料			

【前年度報告】

●別紙参照

- 特養入所者の平均介護度は 3.8 となっており、制度改革により入所基準は要介護 3 以上となっていることから、次第に上昇してきている。開所当時は 3.1 であった。待機者数は 41 名。昨年は 108 名であった。新年度より入所基準が要介護 3 以上となった事から要介護 1～2 の方を除外した数字となっている。(中川)

【アンケートについて】

●別紙参照

- 昨年度の目標として『大いに満足』という方を増やしていく事であった事から、接遇面を中心に力を入れてきた。前年度と比較すると上昇してきている。接遇向上委員会での話し合いや、御家族とのこまめな話し合いを心掛けている。(中川)

【事業報告について】

- 開所後は入院に至るような骨折事故など、件数が非常に多かったが、事故に関する件数は減ってきており、その点を今回は評価している。地域交流の一環として、幼稚園との交流会を行ったり、子供会の七夕飾り作りを受け入れるなど、結びつきを強くできるような活動に力を注いだ。(中川)
- ・子供との触れ合いは特によいと思う。目の輝きが違う。これからも続けて欲しい。(佐藤様)
- ・虹の苑でも年に一度くらいは近所の保育所との交流会を行っているが、寶樹苑いずみ程は盛んではない。良いことだと思う。利用者にとっては、孫、ひ孫くらいの子供との関わりは目の輝きが違うように思う。(青山様)

【その他】

- 今後、地域の夏祭りがある。毎年行かせて頂いている。今年も参加できればと思う(中川)
- 各階に職員の皆の写真が張り出されて見易い。職員制服に名札があると尚良い。利用者が介助をしていただける相手の名前をすぐに分かったとよいかなと思う。(佐藤様)

添付資料